

報告事項

JAかみはやし 自己改革取組み宣言

これまでも、これからも、組合員・地域の皆様のお役にたてるよう
JAかみはやしは「総合事業」を展開してまいります

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組めます。
- このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆様と話し合いを深めます。
- そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、組合員・地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

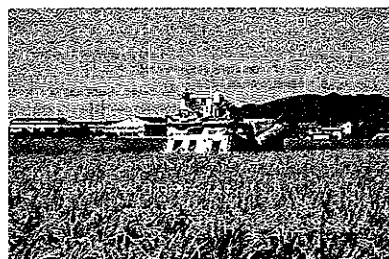
協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織であり、協同の精神である相互扶助にもとづく「共助」の結合体ともいえる組織です。

そして、JAは農業者（正組合員）と農業者とともに地域農業を支える者（准組合員）が組織する協同組合です。組合員の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的として、農畜産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を通じて総合的に結び付け、地域づくりに取り組んでいます。

地域農業の振興には、信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで事業運営をしているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業関連施設への投資が可能になります。正組合員のみならず准組合員の事業利用が地域農業の振興の一助となり不可欠です。

JAはこれからも総合事業を通じて、組合員・地域の皆様とともに地域の農業や暮らしを守り、協同の精神を次代につなげるための活動に取り組んでいきます。

ここでは、総合事業体として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けたJAの主な取組みを次のとおり紹介します。



1. 生産者コスト低減に向けた取組み

水稲用JA県下統一肥料「越後の輝きシリーズ」を新たに採用し、銘柄集約によりコスト低減を図っています。

また、鉄コーティング水稲直播により育苗作業等を省力化し、面積拡大が可能な経営環境整備を支援しています。

2. 園芸振興に向けた取組み

野菜定植機や管理機をJAが取得して生産者に貸出し、農機具導入費用の削減や労力軽減を図りながら、園芸重点品目のねぎ、栽培期間の短いブロッコリー等の新規取組みを推進しています。